



産業翻訳と文芸・映像翻訳の違い

翻訳業界の2つの世界を知る

株式会社ジマーク



翻訳の2つの世界

- 産業翻訳は実務翻訳やビジネス翻訳とも呼ばれ、一般にはあまり目にしない分野ですが、翻訳業界では多くの割合を占めています
- 文芸・映像翻訳は日常的にも目にする機会が多く、翻訳者をイメージする場合、最初に思い浮かべることが多いのではないのでしょうか？
- 両分野を兼任する翻訳者は少数で、それぞれ異なるスキルが求められます

医薬分野

薬ができるまでの試験報告書の翻訳など

工業分野

マニュアルや契約書の翻訳など

特許分野

特許出願の翻訳など

観光分野

外国人向け商品説明や社員マニュアルの翻訳など

産業翻訳の代表例

産業翻訳は専門性の高いビジネス文書を扱う分野です

- 日常生活の中では直接目にする機会は少ないですが、グローバルビジネスの基盤を支える重要な役割を担っています
- 専門用語の正確な理解と、業界特有の表現に精通していることが求められます

産業翻訳に求められるスキル

原文に忠実

文章の読みやすさによる多少の意識はあるが、まずは正確に翻訳することが求められる

専門知識

各分野の高度な知識が必須。メーカーなどで社内翻訳の経験後、フリーの翻訳者になる人が多い

用語管理

一貫性のある用語使用

- 原文に忠実であることが最も重要で、翻訳者の創造性を加えることは基本的に求められません
- 医薬、法律、技術など各分野の高度な専門知識を持ち、正確に理解できる能力が必要です
- 用語管理能力と新しい用語にも対応できるリサーチ力が、品質の一貫性を保つ鍵となります





文芸・映像翻訳の世界

- 優れた読解力で原作の意図や文脈を深く理解し、著者の意図を正確に捉える能力が求められます
- 豊かな表現力と文化的背景の理解により、原作の雰囲気や感情をターゲット言語で再現します
- 字幕翻訳では字数制限内に収める要約力が必須で、本質を保ちながら簡潔に表現する技術が必要です
- 作品の世界観やキャラクターを理解し、読者や視聴者に感情移入させる創造力が翻訳の質を決めます

産業翻訳と文芸・映像翻訳の特徴比較

項目	産業翻訳	文芸・映像翻訳
翻訳の姿勢	原文に忠実	創造的な表現
重視する要素	正確性・専門性	感情・世界観
必要な知識	専門分野の知識	文化的背景
主なスキル	用語管理・リサーチ力	表現力・要約力
読者との関係	情報伝達	感情移入

2つの翻訳分野の比較

- 産業翻訳は「情報を正確に伝える」ことが使命で、翻訳者の個性や創造性は抑えられます
- 文芸・映像翻訳は「作品の魅力を伝える」ことが使命で、翻訳者の創造性が作品の成功を左右します
- 求められるスキルが根本的に異なる2つの専門分野です

まとめ

2つの世界: 産業翻訳と文芸・映像翻訳

異なる目的: 正確性 vs 創造性

専門スキル: それぞれ独自の能力が必要

- 産業翻訳は正確性と専門知識を重視し、ビジネスや技術分野で不可欠な役割を果たしています
- 文芸・映像翻訳は創造性と表現力を重視し、作品の魅力を異なる言語圏の人々に届ける役割を担います
- 両分野を兼任する翻訳者が少ないのは、求められるスキルセットと考え方が大きく異なるためです
- 翻訳という職業には多様な専門分野があり、それぞれに独自の価値と専門性が存在します



株式会社ジマーク

JIMAKU
TRANSLATION

お問い合わせ



お問い合わせ窓口

受付時間: 平日10:00-17:00 (土日祝日を除く)



電話でのお問い合わせ

TEL: 050-3499-0137



メールでのお問い合わせ

Email: main@jima-ku.co.jp



ご相談

お見積り、ご不明な点、ご要望をお聞かせください。